

## 【報告】平成30年9月 台風21号がもたらした大雨による 徳山ダム防災操作について

平成30年9月4日から9月6日にかけて台風21号がもたらした大雨による徳山ダムの防災操作の状況についてお知らせします。

### 1. 徳山ダム上流域の降雨等の状況

台風21号がもたらした大雨は、徳山ダム地点において9月4日（火）未明から降り始め、降雨が収まった9月5日（水）朝までの間に約198mmの降雨がありました。

9月4日午後6時頃、徳山ダムへの流入量が最大1,049 m<sup>3</sup>/s を記録（管理開始後2番目に多い量※）しました。また、ダム地点で最大風速36 m/sの強風を観測しました。

※平成20年の管理開始後、最大の流入量（1,216m<sup>3</sup>/s）を記録したのは平成26年8月台風11号です。

### 2. 徳山ダムの防災操作

徳山ダムでは、貯水池に流入する水量が毎秒200立方メートルを超えた9月4日（火）午後3時20分から水量が毎秒200立方メートルを下回った9月5日（水）午後5時までの間、全量をダムに貯留し、揖斐川下流の洪水を低減しました。

具体的な降雨と防災操作の状況は、別図を参照下さい。

#### 洪水調節した水量

貯留した水量 2,342万立方メートル

貯水位の上昇 2.0m

最高水位 標高391.87m



9月4日13時頃の徳山湖の状況



風雨が最も強くなった9月4日15時頃の状況

### 3. 洪水調節後の放流の再開

9月5日（水）未明から降雨が収まり貯水池に流入する水量が低減したことから、次の洪水に備えるため、今般の洪水調節で貯留した水は、揖斐川の下流の状況を確認しながら、9月5日（水）午前5時から放流を再開し、同日午前9時から、洪水吐きからの放流を行いました。

その後も継続して秋雨前線による降雨が断続的に継続しており、貯水位が洪水調節開始水位（標高391m）以下に低減するまでの間、ダムからの放流を継続しています。

今後、天候が回復してもしばらく揖斐川の流量が多い状況が続きますので、河川には立ち入らないよう注意下さい。



洪水吐きから放流（9月5日12時頃）

別図

# 平成30年9月 台風21号がもたらした大雨による徳山ダム防災操作の状況

【平成30年9月4日(火)～9月6日(木)】

